

# 秩父地域6次産業化 交流会開かれる

11月13日、秩父農林振興センターで開かれた。

6次産業化とは、生産者自らが「生産（1次）」したものを「加工（2次）」「販売（3次）」まで携わり、高い付加価値を実現し所得の向上、雇用も生まれ、地域の活性化につながるという取り組み。セミナーは、「6次産業化とは」

講師は埼玉県6次産業化サポートセンター企画推進委員。

埼玉県日高市のサイボクハムを例に、身近な事例を紹介し説明してくれました。

秩父地域の身近な事例紹介では、①あんぽ柿の商品化II小鹿野町。当初の販売は秩父夜祭に始まったが、今ではスーパー大手のイオンやイトーヨーカー堂、ヤオコーに販売網が広がっている。

②長瀨桜燻製くんせいの事例紹介。長瀨は年間を通じて多くの観光客が訪れます。

事業の目的は、長瀨の地域資源（サクラ、川魚）を活用して、新たな特産品・新たな産業を創り上げる。

両取り組みの努力の跡が伝わってきました。

交流会には、14品の試食品が出されましたが、時間の関係で欠席、残念。

皆野でもこうした取り組みがあれば、活気もでてくるなど、参加して強く感じた。



国民の目・耳・口をふさぐ

怖い**秘密保護法**

やめさせよう

## 自治体キャラバン行なわれる

今年で12回目となる、埼玉県労働組合連合会主催の各自治体訪問行動がおこなわれました。

切実な労働者、住民の声を伝え安心・安全な自治体行政をおこなってもらうために懇談をすすめているものです。

皆野町は11月11日、皆野町役場で行なわれ、自治体で働く人の賃金や非正規職員の雇用や労働条件、また、公共工事発注の改善などが意見交換されました。  
常山知子町議も同席しました。

## 新米議員のひとりごと

常山 知子

何歳になっても同級生と会うのはうれしいものです。

先日、高校の同窓会がありました。戦後のベビーブームに生まれた私です。一学年五五〇名の生徒募集です。クラスは十一もあり、知っている人は同じ中学から進学した人だけでした。クラブ活動は帰宅部ですから先輩も知らない。そして一年、二年とすぎ進級したクラスは三年八組。選択教科は音楽。歌好きの女子高校生が集まりました。とにかく歌うことが好き、ホームルームの前にみんなで一曲、二曲とうたいました。

同窓会が終わって、二次会に集まったメンバーは更にうたが好きな人たちです。みんなで歌いました。「絆、きずな」（森田公一作曲）「底力の夕ンゴ」（これは中高年のうた）「花は咲く」など。

きびしい世の中、いつも「心に太陽を！ 口びるに歌声を！」そんな思いで生きていきたいですね。